

令和5年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

令和6年4月30日

広島市安佐北区深川8丁目36-13
学校法人 うすい会
理事長 碓井 法明
(施設名 広島高陽学園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

- ・ツツジの色染め
- ・田作り・田植え
- ・いちごの収穫
- ・じゃがいもの収穫
- ・玉ねぎの収穫
- ・さくらんぼの収穫
- ・梅シロップ作り
- ・夏野菜植え

【7月～9月】(夏季)

- ・スイカ割り
- ・夏野菜収穫
(ピーマン・とうもろこし・枝豆・トマト
かぼちゃ・スイカ)

【10月～12月】(秋季)

- ・かぼちゃのどら焼き作り
- ・稲刈り・脱穀・おむすびづくり
- ・大根、玉ねぎ、白菜、キャベツ、ブロッコリー植え
- ・ピーマン収穫
- ・焼き芋会
- ・芋堀り
- ・どんぐり、松ぼっくり、栗拾い

【1月～3月】(冬季)

- ・大根収穫
- ・じゃがいも植え
- ・春みつけ

活動報告（詳細）

【4月～6月】



初めて入る田んぼの感触に、最初は戸惑っていた様子の子どもたちもいましたが、保育者と一緒に田んぼを歩く中で、次第に土の感触にも慣れ、「冷たい」「ぬるぬる」「どろどろ」「楽しい」等色々なことを体感しながら、喜んで参加しました。

子ども達が歩き、足で踏んで作った田んぼで、後日田植えを行いました。

【7月～9月】



5月に植えたスイカが大きくなっていたので、収穫をしました。重さがあったので子ども一人では運べず、数人で協力し、園まで運びきることができました。

スイカ割りでは、友だちが棒でスイカを割る姿をみんなで見守りました。「もっと横！前！」と保育者も子どもたちも一緒になって声をかけました。見事にスイカに命中し、スイカが真っ二つに割れたときには、みんなで拍手し、大きな歓声が上がりました。スイカはその場で園長先生に切っていただき、みんなでテラスに座って食べました。

【10月～12月】



園で掘ったさつまいもを、幼児組は一人一本ずつ新聞紙とアルミホイルに包み、畑に大きな穴を掘って焼き、焼き芋会をしました。

園のグラウンドにある葉っぱを集めて畑に運んで燃やし、その火の中に芋を投げ入れました。焼き上がるまでの時間、保育者の楽しいお話を聞いたり、畑の中で綱引き大会をしたりして楽しみました。出来上がった焼き芋は、みんなで畑に座って食べました。

野菜が苦手な A 君は、「食べてみようか、どうしようか」と悩んでいました。他の子が「おいしい」と言って食べている姿を見て、保育者からも「おいしいよ、食べてみようよ」と声をかけられた A 君は、一口パクリ。そして、「先生、おいしいね。みんなで食べるとおいしいね」と笑顔で一言。ホカホカの焼き芋を食べ、楽しい焼き芋会でした。

【1月～3月】



10月に種を蒔いた大根が大きくなり、収穫をしました。大きな大根の葉っぱを見て、子ども達は大喜びです。

お空に向かって真っすぐ抜くように教えてもらいましたが、なかなかぬけません。「うんとこしょ。どっこいしょ。」と言いながら大根を引っ張る子どもたちですが、抜く事ができません。絵本の「大きなかぶ」のようにみんながつながって抜こうとする姿も見られました。「よいしょ～」と声をあげながら無事に抜けたときは、子どもたちは大喜びでした。

「踊ってるみたい」「楽しそう」などつつぶやきながら 2 本足や形のおもしろい大根を沢山見つけました。一人一本ずつお家に持って帰った子ども達は、葉っぱもふりかけなどにして食べたと後話を聞きました。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について
広島県自然保育認証団体 保育者等安全管理研修に参加する（10月）

- ・ 地域との関わりについて
地域の方に脱穀から精米までの話を聞き、実際に脱穀を体験する（11月）

- ・ 保護者との関わりについて
収穫したスイカを子どもと一緒に食べる（8月）
持ち帰った大根を各家庭で調理してもらい、園で収穫した野菜を家庭でも味わってもらう。（1月）

- ・ その他

*より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページやSNSのURLをご記入ください。

URL	
-----	--